

平成29年11月24日
国立大学法人大分大学
九州地方整備局
大分河川国道事務所

現場の臨場感を学ぶ

～大分大学教養教育科目「道路施策概論」の現場視察の実施について～

国立大学法人大分大学と国土交通省大分河川国道事務所は、平成29年3月3日に覚書を締結し、10月より大分大学教養教育科目「道路施策概論」を開講。今回、授業の一環として国土交通省の実施事業や熊本地震被災地災害復旧事業の工事現場の視察を下記のとおり行いますのでお知らせします。

【日時】 平成29年11月25日（土） 9:00～17:00

【対象者】 大分大学 学生 91名

【現場視察の行程】 資料-1を参照
大分川ダム→中九州横断道路→「道の駅」すごう→熊本地震被災地（阿蘇地域）

【参考】 道路施策概論の概要 資料-2を参照

【協賛】 一般社団法人 大分県建設業協会

【問い合わせ先】

国立大学法人 大分大学

電話：097-554-6850

学生支援部教育支援課 獅々賀 ゆかり（ししが ゆかり）

国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所

電話：097-544-4167（代表）

総務課長 楠田 哲治（くすだ てつじ）

未来のために 現役の技官が 土木最前線を 講義する。

日本の「土台」を学ぶ

道路施策概論

| 授業の狙い

本講義では道路整備や管理の実務を学ぶ。さらに、社会経済の状況と道路整備や施策との関係を概観する。これにより、我が国における地域や国土の課題を理解するとともに、解決に向けたマネジメントする視点を養い、最新の道路施策の動向を通じて、我が国における道路整備等の方向性を見通すことができることを目指す。

| 具体的な到達目標

- ・道路が我々の社会経済活動に対して果たしている役割を説明できる。
- ・道路の計画や整備、管理や防災対策における重要な視点を説明できる。
- ・我が国の自然条件や社会条件の特徴を理解し、道路整備の取り巻く課題を説明できる。
- ・我が国における最新の道路施策の動向を説明できる。
- ・道路を取り巻く課題を踏まえ、我が国及び地域における今度の道路施策のあり方を論述できる。

いまだ かずのり

講師: 今田 一典 昭和39年(1964年)12月29日生(52歳)



昭和58年(1983年)4月

庵木ダム工事事務所 工務課 採用

平成8年 (1996年)4月

近畿地方建設局 兵庫国道工事事務所 復興工事課 工事第三係長

平成27年 (2015年)5月

国土交通本省 道路局 国道・防災課 道路防災対策室課長補佐

平成29年 (2017年)4月

大分河川国道事務所 所長

「講義プログラム - 「道路インフラ最前線」を理解する -

日程	講義題目	講義概要
第1回	道路の歴史と役割	道路の基本的役割を学んだ上で、私たちの身近にある「道路」の歴史を振り返る。道路が果たしてきた役割と、これからの社会・経済の発展に期待される役割について学ぶ。
第2回	道路の計画と整備	道路計画の目的・調査検討の概要を説明。道路整備に必要な手続きとして、環境影響評価、事業評価、調査・設計、用地買収、工事や整備後の維持管理について学ぶ。
第3回	建設業と公共事業の今後の展望	社会資本整備を取り巻く状況から公共工事の担い手や調達の仕事方を説明。道路交通に関する技術革新やi-Constructionの推進について学ぶ。
第4回	道路の維持管理と防災対策	道路の日常管理と老朽化の現状と対策を説明。災害対応の現状から耐震をはじめとする豪雨や雪寒等への対策と災害に対応する体制を学ぶ。
第5回	高速道路	道路の階層性から高速道路の整備手法、整備状況、料金体系を説明。スマートIC、渋滞対策、逆走対策等の各種施策や道路分野のコンセッション方式の導入について学ぶ。
第6回	道路のITS	高度道路交通システム (ITS) の目的、推進体制、歩みを説明。最新のITS施策、道路管理の高度化、更に今後の自動運転や国際展開について学ぶ。
第7回	道路の渋滞対策・交通安全対策	2大交通課題となっている渋滞と事故について学ぶ。渋滞・事故の現状と対策について全国の概要を説明したあと、大分の事例を取り上げ、身近な道路課題と対策について考える。
第8回	他の交通モードとの連携	我が国の公共交通の現状や海外の取組を説明。今後のバスを中心とした道路施策について学ぶ。また、物流の現状から物流生産革命の必要性やそれに向けた道路施策について学ぶ。
第9回	身近な道路施策と地域との連携	身近な道路施策として、無電柱化、ユニバーサルデザインとバリアフリー、自転車利用環境の創出、道の駅・道守大分会議・日本風景街道等の現状と課題、今後の展開について学ぶ。
第10回	道路インフラの海外展開	世界のインフラ需要と我が国の海外受注の状況、国土交通省としての取組、海外インフラプロジェクトの展開、質の高いインフラ投資の事例について学ぶ。

「現地プログラム - 現場の臨場感を学ぶ -

実施日:平成29年11月25日(土曜日)

大分川ダム	国土保全・利水・治水を目的とする大規模な社会資本整備の現場の視察
中九州横断道路 朝地IC	大分と熊本、九州縦貫道と東九州自動車を結ぶ地域高規格道路整備の現場を視察
道の駅 すごう	身近な道路施策の事例として、観光、地域活性化、防災の拠点となる道の駅を視察
熊本地震被災地(阿蘇地域)	幹線道路のネットワークが失われた道路等の被災の現地を視察



中九州横断道路



阿蘇地域被災地